資料２

水源環境保全・再生かながわ県民会議　活動結果報告

平成20年1月17日に開催した「第２回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム）」の内容は次のとおりでした。

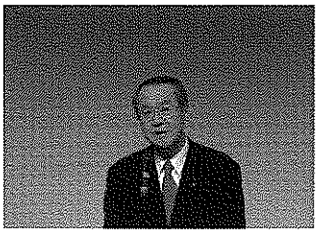
名　　称	第２回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム）	
	構成員	坂本勝津雄、石村黄仁、倉橋満知子
開催日時	平成20年1月17日（木）　18:00～21:00	
開催場所	サン・エールさがみはら　ホール	
出 席 者	金澤史男（※１）、天野望（※２）、天内康夫、片山幸男、瀬戸孝夫、高橋弘二、髙橋二三代、牧島信一、真覚邦彦、増田清美 ※１　主催者あいさつ ※２　コーディネーター	
参 加 者	１８２名	
報 告 者	坂本勝津雄	
内　　容	（以下のとおり）	

１．主催者あいさつ　金澤座長

○このフォーラムには３つのことを期待している。１つ目は県民の皆さんの水源への関心を広めていくこと、２つ目は今年度から始まった事業をチェックしてもらうこと、３つ目はこういう討論に参加してもらい積極的に意見を言ってもらうことである。

○県民会議は単に会議室で会議をするだけでなく、現場に出向いて事業をチェックする、地域に出向いて意見を聞くという「行動する県民会議」を目指している。

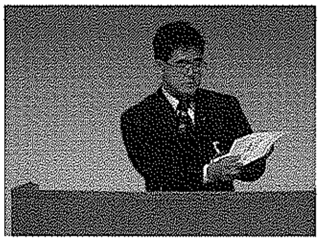
２．地元市長あいさつ（代理）　宮崎相模原副市長



○本市は津久井４町との合併により湖と広大な森林を擁することとなった。この豊かな水と緑は県民の水源地として重要な役割を担うとともに、新相模原市の新しい魅力となっていくと考えている。

○４月からの水源環境保全事業の推進にあたり、県から交付金を受けつつ連携を密にして推進しているところである。

３．水源環境保全・再生の取組とは　星崎水源環境保全担当課長

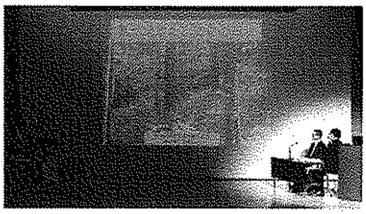


○今年度は県全体では約35億円の財源を活用して12の事業を推進していく。この県北地域においても、水源の森林づくり事業や地域水源林整備の支援、河川・水路の自然浄化対策、ダム集水域における公共下水道及び合併処理浄化槽の整備促進の事業を市町村と協力して推進していく。

４．事例報告、フロア討論

コーディネーター	旧津久井町長	天　野　望
パネリスト	神奈川県環境農政部森林課副技幹	日　髙　壮　一
〃	有限会社サトウ草木代表取締役	佐　藤　好　延
〃	桂川・相模川流域協議会代表幹事	倉　橋　満知子
〃	麻布大学環境保健学部環境政策学科	滝　澤　康　至

各パネリストからの自己紹介を含めた事例報告に引き続き、フロア討論を行った。

<table>
<tr><td>内　容
（続き）</td><td>
（佐藤氏）
森林整備事業が増えて、仕事も非常に多くなっているが、労働力が不足している。山で働くと危険が伴う。安定した生活ができる処遇に持っていければと思うが、一企業ではなかなか難しい。

（倉橋氏）
桂川・相模川流域協議会では山梨県を含む上流から相模湾に注ぐ河口まで流域全体について市民をはじめ事業者、行政とも協力しながら活動している。

（滝澤氏）
現在、ＮＰＯ法人緑のダム北相模が行っているフィールドを中心にボランティア活動に参加している。山に興味のない人にはぜひ山に入っていただき、山の現状を知っていただきたい。

その他、会場からの質問・意見等も踏まえ、討論を行った。（意見等については別紙。）

５．ミニコンサート
フロア討論後、ミニコンサートを開催した。

</td></tr>
</table>

第２回県民フォーラム準備委員の感想

<table>
<tr><td>坂本勝津雄</td><td>合併の流れを受けて相模原市が変化しているこの時期に水源地の情報を共有化するフォーラムは意味深く、また水源税導入の情報も発信出来た企画であった。第二部として胡弓のミニコンサートを実施するなど地域の特性を発揮できた形となった。参加者の主体的な関わり方を引き出していくためにも市民活動への支援についての情報提供も大切な課題であるが、時期的に間に合わなかった事は残念であった。次回の県北地区のフォーラムとしては水源環境の情報交換、集約、交流という三つの要素を大切にして、引き続き地域性を活かしたイベント性のある企画を望みたい。地域の特産品販売や観光アピール、水源スポット紹介なども組み込み、幅広く情報提供を実施していけたらと考えます。</td></tr>
<tr><td>石村黄仁</td><td>・行政の政策説明は、適切に進められた。
・コーディネーターに人材を得て、進行はスムーズに進められた。
・新たな試みとして学生の主張を取り入れた事は、新鮮な印象となって参加者に共感を与えた。
・２問の質疑があったが、回答は納得・理解の出来ぬものであった。
・ミニコンサートの取り入れは、演奏者や選曲がこのフォーラムに適したものであり、参加者に好感を与えた。</td></tr>
<tr><td>倉橋満知子</td><td>ミニコンサート自身は良かったが、夜の短い時間に盛り込むには無理があったように思う。（午後の時間だと良い。）
一般参加者の意見を聞く時間が短いのと、質問形式だと参加者相互の考えが見えないので、一方通行で発展性がない。今後の見せ方を課題としたい。</td></tr>
</table>

別紙

第２回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム）　意見集約書

		内容	意見等の対象（想定）			フォーラムでの取扱い
			県民会議	県	その他	
1	県民会議・県民フォーラムの運営等関連項目	これからの環境を考えるとこの様なフォーラムは数多く実施した方が良いと思う。	○			
2	水源環境保全・再生の個人県民税超過課税関連項目	水源環境税の使われ方を知ることができ良かった。	○			
3		試算の表だけでなく、県民個々人がいくら超過負担をしているか、個別に知らせるべきではないか。		○		
4		県民へのＰＲにもっと力を入れるべきである。	○	○		
5		林業者の不足対策、人材派遣は使えないか。	○			
6		水源環境保全・再生事業や水源の森林づくり事業でフォローできない山林の整理（湖周辺や県道周辺など）の整備の仕組みをつくる必要がある。整備しない、できない説明が今後は必要となる。	○	○		
7		整備に対する政策は進んできていると思いますが、それに関わる人手が大変不足していると思います。現状を踏まえて魅力ある事業とその広報も大切だと思う。	○			
8		林業労働者の安定した処遇になるような改善が必要。１企業では無理なのでこの水源環境税の導入を契機に行政にも一歩踏み込んだ改善を図っていただきたい。	○	○		○
9		山の仕事に慣れないために、県から文句も言われますが、どうしても作業が遅れ気味です（ケガも多いです。）。単価も安く決して良い仕事とは思えませんが、「水源林を守るため」というすばらしい仕事なのだと確認しましたので、作業員の方々にも、そのことを伝えたいと思います。			○	
10		森林整備をＮＰＯに委託することはないのか。	○			
11		県産材を活用するためのインフラの整備はどのように考えているのか。		○		
12		地球環境の問題が大きく取り上げられている現在、環境に力を注ぐような企業が求められていくとともに、企業の価値を高めることとなるのではないか。そういうことから、民間の力をもっと活用し、民間企業が森林の一部などを守るような仕組みづくりを検討できないか。	○			
13		昨年度から水源林整備業務を受注させていただいておりますが、今後ますますの勉強、努力で取り組みたいと考えます。労働力→現場での実際労働を担う層の確保こそが最優先では？→教育？机上の空論と思える議論だけでは、決して森林は良くならないと思います。	○			
14		私は一般的な会社員でどちらかというと便利性を求める傾向にある。環境問題等はテレビ、新聞等で報道されても実感が湧かなかった。しかし今回参加させて頂き森林保全事業の確保（３１３名では困難かな、森林家の将来、若者の定着かなど）、また猿橋付近のゴミはショックでした。いろいろ勉強になりありがとうございました。 佐藤さんの言っていた森林業労働力確保は「金」と言っていたが、お金がすべてではないと思う。給与が多い方が良いと思うが、仕事に対する誇り、喜び、達成感などであると思う。この辺りのＰＲと人材が必要と思う。	○			

別紙

第２回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム）　意見集約書

		内容	意見等の対象（想定）			フォーラムでの取扱い
			県民会議	県	その他	
15	森林整備等関連項目	協力協約契約に関する業者とＮＰＯとの活動方法について、規定を早く確認したく存じます。（書類で） １　ＮＰＯが営利活動と見なされる協力協約では参加が出来ないと存じます。 ２　とは申せ、完全なボランティアでは再生活動は出来ず、現在借用森林はあるも如何様に活動したものか思案しております。 ３　県と市との規定・方針に不一の点がある様にも思いますが？ ４　借用している森林は里山林です。		○		
16		林業従事者の育成にもお金を使う必要あり。	○			
17		担い手不足の解消に向け、造園他の人の関心度が高まったと伺いました。更に押し進める努力を自治体・企業共々強めてほしい。		○	○	
18		１．水の発生源の現況を知る様な写真が見たかった。 ２．林業でなく、水との取り組みを発表してもらい たい。	○			
19		【林業発生について】 内外価格差についての県の取組は？		○		○
20		【発生材の現場利用】 間伐等による発生材は、柵や土留めで利用できるのは（現場で使えるのは）、全体のどの程度の割合ですか？		○	○	○
21		【森林整備事業の担い手確保について】 １．担い手に必要な技能、資質 ２．不足している現状に対して考えられる解決策または方策 ３．一般市民が関われることがあれば知りたい。	○			○
22		【間伐材を使った土留めについて】 間伐材は生木ですが、土留材に利用して早く腐るのではないでしょうか。そして材木が崩れ落ちてしまうようなことはないのでしょうか。間伐材の処分費が緑地の管理費の多くを占めているため、できれば使っていきたい。	○	○		
23		水源の森の重要性について、市民・学生の関心、反応はどうですか。何が人を動かすポイントと思いますか。			○	○
24		【県産材の有効活用について】 ・県産材は住宅の材料として使えるだけの量や質があるのか、供給されているのか。 ・県産材の有効活用についての県の施策と今後の方向について	○	○		○
25		【私有林の手入れについて（個人の力では無理な所）】 知人が松田町寄地区に住まいし、少しばかりの山林を持っているが、ほとんど山に行く事がなく、今の取組を自分の山に向けてもらう事が出来るのかどうか。待っているのではなく、働きかけるには、どうしたら良いか具体的に知りたい。		○		
26		取組は永久的に続くことであり、税の恒久化をはかって、①適地に応じた樹種への転換・保全、②流域材の地産地消の拡大などを続けてほしい。	○			

別紙

第２回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム）　意見集約書

		内容	意見等の対象（想定）			フォーラムでの取扱い
			県民会議	県	その他	
27		林業従事者の育成にもお金を使う必要あり。待遇保証・改善は難しい問題だが、「緑の保全の担い手」として、国は支援する仕組みをつくってほしい。			○	
28		国・県・市有林には手が入りやすいが、私有林の中には、拒否する方も多いと聞いている。この問題をどう解決していくのか。	○			
29		【間伐材の活用】 課題は何か？どのように解決していくか？	○	○		
30		県産材での住宅や家具への活用も進めてほしいが。バイオチップストーブの普及なども是非進めてほしいが現状は？	○	○		○
31	河川・水路整備関連項目	河川整備にも力を入れて。	○			
32		【河川・水路の整備について】 水源環境保全・再生交付金の対象事業に、河川・水路もありますが、その内容についてお聞かせください。		○		○
33		身近な市町村での取組について、水田地帯の水路を環境保全・再生できるよう整備してほしいと思います。森のめぐみの水が、農のめぐみを与えてくれます。水田の多面的機能を農のめぐみと言い換えた福岡県の環境支払制度は県民が農めぐみにまなざしを向けることを進めています。県内の水田地帯でも県民がもっとまなざしを持てる取組が望まれます。 愛川町尾山耕地の水路改修が行われていますが、コンクリート三面張りで、交付金の対象になっていません。この水路には、県のレッドデータにリストアップされたトウキョウダルマガエルやホトケドジョウなどが確認されています。こうした生物達の生息に配慮した整備を市民参加、また専門家も入って検討されることを望みます。	○			
34	生活排水対策関連項目	津久井地域の下水道普及率を上げてほしい。	○	○		
35	県外対策関連項目	他県との連携を今以上に。	○	○		
36		山梨県との連携した取組も必要では。	○			
37		【相模川上流域の整備について】 現在の５か年計画は県内のみ整備対象だが、次期計画で山梨県に手を入れる考えは？また、不法投棄対策を対象事業に加えることを考えていくべきではないか？	○			
38	水質保全等関連項目	水質の問題点はあるのか。		○		
39		丹沢大山の保全と相模川・酒匂川の保全は、密接にからんでいると思う。税の使い方として、総合調査団の提言を生かすことに積極的に使って欲しい。	○			
40		当研究室では、1993年から毎月１回、相模川水系３２ヵ所（山中湖～寒川）の水質調査を行っています。水質関係で何かお話（ご相談）があれば協力できると思います。			○	
41		年間計画１年目の予算・工事計画についての進捗度は？		○		
42		川崎市民の関心は、横浜と違って多摩川に向かいがちですみません。			○	
43		１００年の長いプロジェクトなので、息長く行ってください。	○	○		
44		所属しているＮＰＯでも相模川の清掃等に取り組んでおります。今後も活動を頑張りたいです。			○	
45		麻布大の滝澤さんの発表を心強く聞きました。若い世代の人達が環境保全・再生にどんどん参加してもらえることを期待します。ましてや中高年世代はその先駆けになりましょう。			○	

別紙

第２回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム）　意見集約書

		内容	意見等の対象（想定）			フォーラムでの取扱い
			県民会議	県	その他	
46	その他	息の長い仕事になりそうです。途中で息切れしないように、何が目に見えて体で感じられる森と水の幸せスポットのようなところがほしいです。ヒーリングスポット。			○	
47		資金を持っている人が入り込める枠組みになるようなことを進めることになりそうだなと感じました。	○			
48		山ヒルが里山に多量発生し、山に里の人が入れなくなっています。県の対策はありますか。		○		
49		体験学習をしている様ですが、体験を小中学校で発表して教育の成果に。			○	
50		他県にわたっての川での連絡会議は年何回ぐらいですか。			○	○
51		ダム湖の富栄養化対策は今回話題に出なかったが、これには更に力を入れていきたい。			○	
52		【ままごとじゃないと言い切れる理由】 大学生活には自由に使える時間はありますが、その反面に時間に限りがあるということがあります。４年終わって卒業してからも活動を続けていくために、今やっていることを教えていただきたいです。また、続いていくと思いますか？大学内における環境に対する関心がどれくらいあるのかも教えていただきたいです。			○	○
53		私たち一人ひとりがまず第一にしなければならない事は何でしょうか？例えばゴミを捨てないなど。	○			

第２回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム
（県北地域フォーラム）　アンケート集計結果

今後の取組の参考とするため、フォーラムに参加いただいた方々にアンケート調査を実施したところ、多数のご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。（詳細は別紙）

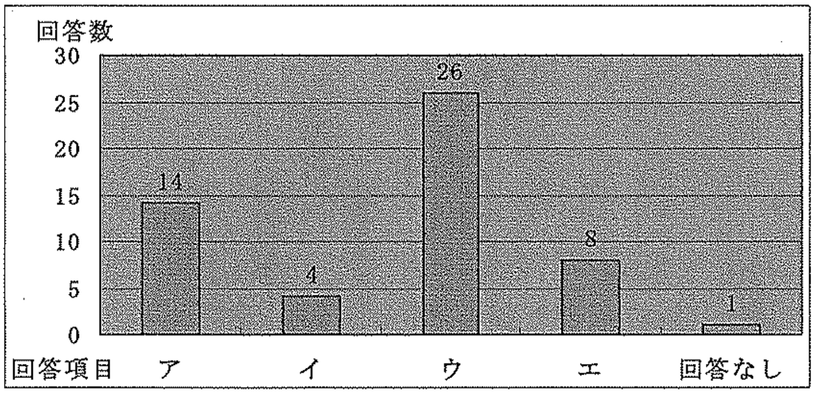
○　回収したアンケート…48

○　今後、水源環境保全・再生に関する情報提供を希望する人数…26名

Ｑ１　本日のシンポジウムのことをどのように知りましたか。

ア　公共機関での配布物　　イ　県のホームページ　　ウ　所属する団体を通じて

エ　その他

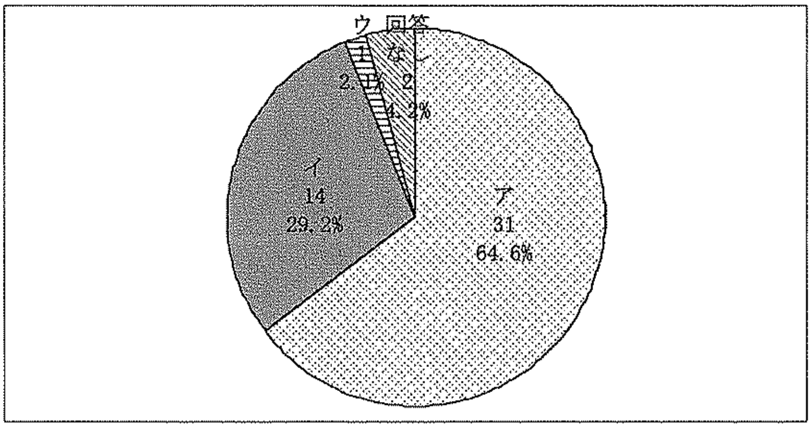


エ
- 神奈川新聞
- 県からのメール

…etc

Ｑ２－１　今回のフォーラムはいかがでしたか。

ア　良かった　　イ　普通　　ウ　改善が必要



ア　県民会議委員が司会・進行を主体的に進めた点

イ　ディスカッションの時間が少々タイトでした。

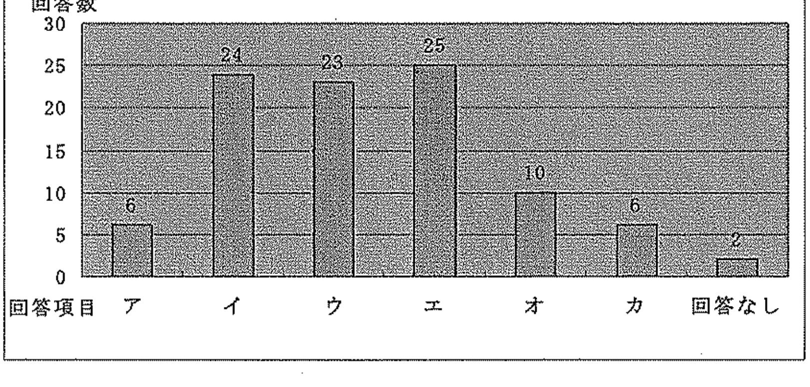
ウ　発表が多く散発的。もっと絞ったテーマにしてほしい。

…etc

Ｑ２－２　今回のフォーラムで興味深まったものはありましたか。（複数回答可）

ア　施策に関する事業説明　イ　水源地の現状報告　ウ　水源地での活動事例報告

エ　水源地の将来を考える　オ　フロア討論　カ　ミニコンサート



イ　サトウ草木様のお話には大いに共感を覚えました。

エ　後世に残せる地球環境にもつながる。自分の意識改革にもなった。

オ　大学生の滝澤さんのしっかりした意見に好感を持った。

…etc

第２回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム）　アンケート集計（詳細）

	Ｑ１　本日のシンポジウムのことをどのように知りましたか。				エ　その他（理由）	Ｑ２－１　今回のフォーラムはいかがでしたか。			理由	Ｑ２－２　今回のフォーラムで興味深まったものはありましたか。（複数回答可）						理由
1	ア					ア				ア	イ	ウ				
2			ウ				イ				イ	ウ				
3				エ		ア			県民会議委員が司会・進行を主体的に進めた点			ウ	エ			
4			ウ			ア			解説が良い。		イ					
5				エ	神奈川新聞	ア					イ	ウ				
6				エ	横浜国大水ゼミ	ア			若い人が参加していた。				エ			水は大切。
7							イ					ウ				
8			ウ			ア					イ	ウ	エ	オ		
9			ウ			ア					イ		エ			
10			ウ			ア						ウ				
11			ウ				イ				イ	ウ		オ		
12	ア						イ		時間が短すぎる、また夜ではなく土曜日の午後		イ					
13			ウ			ア					イ		エ			
14			ウ			ア					イ	ウ				
15			ウ			ア			仕事（造園土木業）で、水源林整備の仕事が増えましたので、現状が分かってよかったと思いました。		イ		エ			
16				エ	環境保全グループのホームページ			ウ	発表が多く散発的。もっと絞ったテーマにしてほしい。				エ			学生が意識されて活動している点
17			ウ			ア					イ					
18	ア					ア					イ	ウ	エ			サトウ草木様のお話には大いに共感を覚えました。
19			ウ				イ				イ	ウ	エ		カ	
20			ウ			ア						ウ				

第２回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム）　アンケート集計（詳細）

	Ｑ１　本日のシンポジウムのことをどのように知りましたか。				エ　その他（理由）	Ｑ２－１　今回のフォーラムはいかがでしたか。			理由	Ｑ２－２　今回のフォーラムで興味深まったものはありましたか。（複数回答可）						理由
21			ウ			ア			普段考えていなかった事が聞け、また環境を考える機会になった。		イ		エ			私が生活していくために非常に大切なものであるため。
22				エ	県の環境メール	ア			現状と課題がわかった。	ア	イ				カ	
23		イ				ア				ア	イ	ウ	エ	オ		
24	ア					ア				ア	イ		エ	オ		
25			ウ			ア									カ	
26		イ				ア						ウ	エ			
27			ウ			ア							エ			
28			ウ				イ								カ	
29	ア						イ				イ		エ			
30	ア					ア				ア		ウ			カ	
31			ウ			ア			水源環境、森林の状況が少し理解できた。		イ	ウ				
32	ア	イ	ウ			ア							エ	オ		悩み多き将来。出口を創出しなければなりませんね。単なる足し算では不可？
33	ア						イ						エ			
34	ア					ア							エ			後世に残せる地球環境にもつながる。自分の意識改革にもなった。
35	ア			エ	シモシュのお知らせ	ア						ウ	エ		カ	本当は芳晴さんとシモシュのコンサートを聞きに来ましたが、水源環境保全の話が聞くことができ、良かったです。
36			ウ			ア					イ		エ	オ		
37			ウ	エ	県からのメール											

第２回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム）　アンケート集計（詳細）

	Ｑ１　本日のシンポジウムのことをどのように知りましたか。				エ　その他（理由）	Ｑ２－１　今回のフォーラムはいかがでしたか。			理由	Ｑ２－２　今回のフォーラムで興味深まったものはありましたか。（複数回答可）						理由
38			ウ				イ		ディスカッションの時間が少々タイトでした。			ウ				
39			ウ				イ		スクリーンがやや見にくい。パネリスト同士の討論も聞きたかった。							コンサートは不要では？
40			ウ				イ							オ		大学生の滝澤さんのしっかりした意見に好感を持った。
41			ウ								イ	ウ		オ		
42			ウ			ア			学生の意見も聞けたから				エ			
43		イ		エ	金澤先生からの情報提供	ア			行政、林業家、ＮＰＯ、さらに学生のプレゼンがあり、業種、世代間のバランスが取れていた。			ウ	エ	オ		
44	ア						イ							オ		ただし、時間不足
45	ア					ア				ア		ウ				
46	ア						イ		悪い所は発表しない		イ	ウ	エ			聞きやすかった
47	ア						イ						エ			
48			ウ			ア			実際に現場で仕事に関わる方（佐藤さん、日高さん）の意見・声はたいへん参考になった。		イ	ウ	エ			